

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 地域連携推進センター ニュースレター 〈第45号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

## はじめに

### 地(知)の拠点整備事業(COC) 全国シンポジウム 開催直前

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」にて本学が採択されている「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業」において、全国の採択機関同士での情報交換・意見交換の場の創出を目的として、2月27日、28日に全国シンポジウムを高知県にて開催いたします。

日時: 2月27日(金)13時~18時30分

28日(土)9時~12時

場所: 高知県立県民文化ホール・グリーンホール

#### 〈基調講演〉

増田 寛也 氏

日本創生会議座長、

東京大学公共政策大学院 客員教授

#### (講演概要)

来たるべき人口急減時代にどう立ち向かうのか。人口減少の驚くべき実態と政府の地方創生戦略について紹介するとともに、今後、特に重要となる「知の拠点」としての大学の果たすべき役割について解説する。

(詳しくは[コチラ](#)をクリック)

## 目次

### p1 はじめに

### p2 域学連携推進部門

Topic1. KICS 化事業 平成26年度外部評価委員会  
中間評価

Topic2. 土佐フードビジネスクリエーター人材創出  
成果報告会

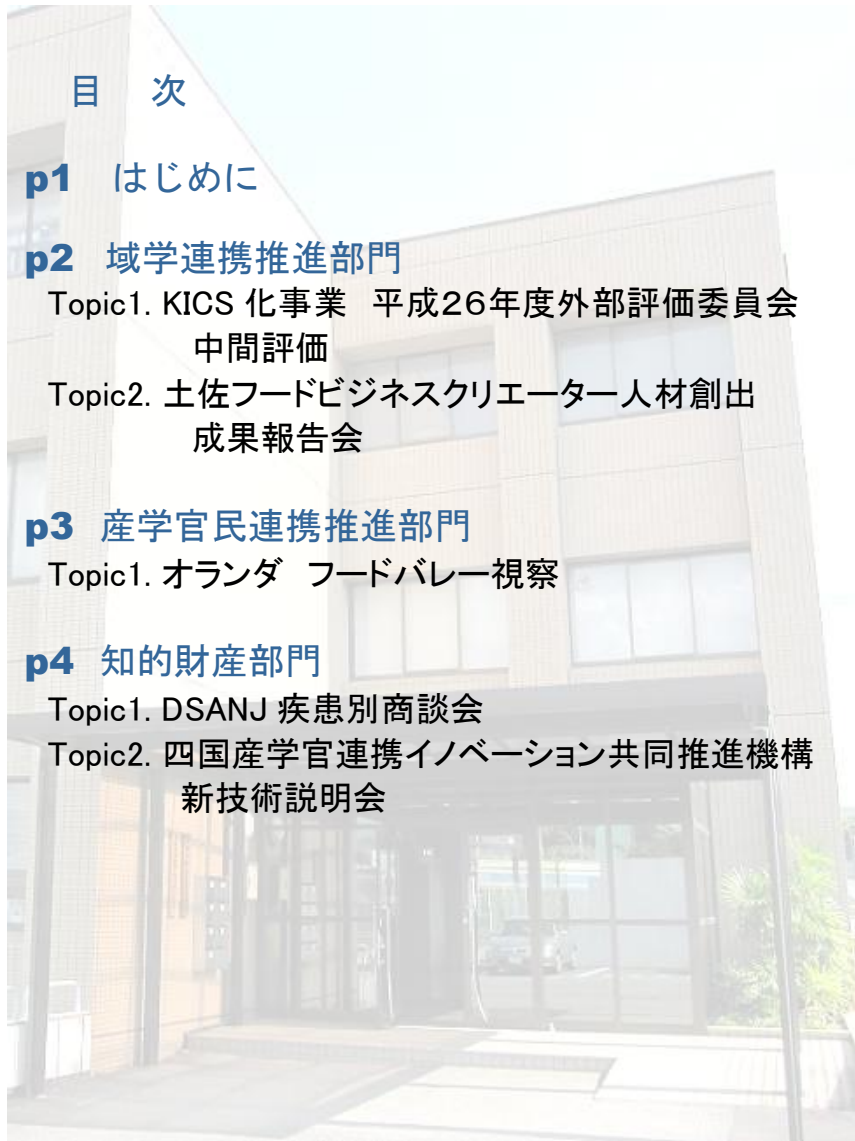
### p3 産学官民連携推進部門

Topic1. オランダ フードバレー視察

### p4 知的財産部門

Topic1. DSANJ 疾患別商談会

Topic2. 四国産学官連携イノベーション共同推進機構  
新技術説明会



## Topic 1. KICS 化事業 平成26年度外部評価委員会 中間評価

「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業」では、事業の改善を図るため、外部評価委員会を組織し、外部評価を毎年度実施することとしています。

### 【外部評価委員会】

委員長：眞鍋 和博 氏（北九州市立大学 地域創生学群 学群長）

委員：中嶋 重光 氏（高知市 副市長）

委員：吉澤 文治郎 氏（ひまわり乳業(株) 代表取締役社長）

今回、平成26年12月末時点までの結果を取り纏め、平成26年度外部評価委員会(中間評価)を執り行いました。委員から様々な指摘・助言等を頂き、今後の課題として改善を図っていくこととなりました。



## Topic 2. 土佐フードビジネスクリエーター人材創出 成果報告会

高知県の食品産業の人材育成を目的に実施している土佐フードビジネスクリエーター(土佐FBC)人材創出は、今年度、第7期生として38名を地域に輩出する予定となっております。第1期からの延べ人数は273名となりました。

今年度修了式および成果報告会を3月19日(木)に開催いたします。14時からの成果報告会はどなたでもご参加可能となっておりますので、ぜひお越しくださいませう何卒よろしくお願い申し上げます。

日時：3月19日(木) 13時～13時30分

修了式

14時～17時

成果報告会

場所：高知城ホール4階 多目的ホール

基調講演：「食品のグローバル展開を目指して」

日本貿易振興機構(JETRO) 高知貿易情報センター 山口 和紀 所長

成果発表：「グアバ葉の機能性解析とオーガニック化粧品の開発」

アフロディア 西川 きよ 氏

「土佐FBCから未来への先駆け」

自営業(農業) 濱田 広海 氏

「土佐FBC II の効果・効能」

南国市雇用創出協議会 本田 真紀 氏

「災害時用おかゆの開発」

高南メディカル 宮本 高憲 氏

## Topic 1. オランダ フードバレー視察

平成 26 年度 JST 事業「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」に、受田浩之地域連携推進センター長の調査研究課題「四国フードアイランド構想」が採択されました。本事業において、高知県を中心とした食品産業の振興によるフードバレー構想を作成するとともに、その構想を四国全体に広がる「四国フード・アイランド構想」への展開を目指しています。具体的には、産学官金が連携した「四国食品総合研究所（仮称）」の立ち上げや、食品産業の中核人材育成プラットフォームの形成、イノベーションバウチャー制度の導入による中小企業の活性化などを検討しています。

「四国フード・アイランド構想」を実現するため、2 月 9 日から 13 日、オランダのフードバレーに関する機関を訪問し、国内外の先進事例調査を行いました。調査対象機関と調査の視点は以下の通りです。

調査対象機関と面談者	調査の視点
オランダ経済省 Robert Stunt (Senior Policy Adviser) Suzanne van Triburug (Strategic Program Manager) 他 1	○ワーヘニンゲン地域のフードバレー (Food Valley) 構想への寄与 ○バウチャー制度の評価
ワーヘニンゲン大学UR Ben Geering (Manager, International Communications)	○フードバレーの中での大学の役割
フードバレー財団 (Foundation) Anne Mensink (海外担当役員)	○フードバレーの中での財団の役割
<b>TNO</b> (研究開発機関) Niek Snoeij (Director, Healthy Living) Walter Vaes (Microdosing 研究)	○フードバレーの中での研究開発機関 TNO の役割 ○マイクロドージング装置視察
巨大施設園芸ハウス ○トマトワールド ○アグリポート A-7 (パプリカ)	○トマトの植物工場の生産現場視察 ○パプリカの植物工場の生産現場視察 ○フードバレーとの連携



オランダ経済省訪問



トマトワールド視察



TNO 訪問

## Topic 1. DSANJ疾患別商談会

1月29日(木)、30日(金)、大阪産業創造館において、「DSANJ(Drug Seeds Alliance Network Japan)疾患別商談会」が開催されました。DSANJ疾患別商談会は、大阪商工会議所及び大阪医薬品協会が主催し、研究者と製薬企業との共同研究に向けたミーティングを実施するものです。今回、高知大学から1名の研究者が参加し、企業等6社との打合せを行いました。この商談会は毎回テーマが決まっていますので、今後もテーマに沿った研究者の参加を知的財産部門として推進します。


(高知大学からの参加者)

医学部附属病院光学医療診療部、消化器内科:谷内 恵介 特任准教授



DSANJ疾患別商談会ホームページより

## Topic 2. 四国産学官連携イノベーション共同推進機構 新技術説明

四国産学官連携イノベーション共同推進機構 <b>新技術説明会</b> New Technology Presentation Meetings!	<b>分野</b> 創薬、材料、制御技術	 独立行政法人 <b>科学技術振興機構</b> <small>Japan Science and Technology Agency</small>
	<b>開催日</b> 2015年2月10日(火)10:30~14:55	
	<b>会場</b> JST東京本部別館ホール(東京・市ヶ谷)	

2月10日(火)、JST東京本部別館ホールにおいて、「四国産学官連携イノベーション共同推進機構新技術説明会」が開催され、81名が来場されました。

高知大学からの発表者は以下の2名で、各発表について約40名の参加者があり、発表終了後は名刺交換および個別面談の申込みがありました。共同研究や技術移転に繋がる可能性がある企業からのアプローチもあり、今後の進展が期待されます。

(高知大学からの発表者)

・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門(IMT) : 片岡 正典 特任講師

「核酸中の全ての塩基を修飾する新技術」

・医学部附属病院光学医療診療部、消化器内科 : 谷内 恵介 特任准教授

「RNA結合蛋白質由来長鎖複合ペプチドワクチンを用いた新規膵がん治療法の確立に向けて」



片岡 正典 特任講師



谷内 恵介 特任准教授